

保護者・地域の方の期待に応えることができるよう、『かかわりと体験活動を中心とした協同的な活動の充実』を経営方針の柱として幼児の自主性を育む幼稚園経営を行う。発達や学びの連続性を踏まえた幼稚園教育の充実を図り、落合第四小学校とともに、よき伝統と新しい教育の融合させた幼稚園教育を目指していく。また、小学校との連携を進め、年長5歳児きりん組と小学校1年の子供たちの交流を推進し、本校独自の「架け橋プログラム」の作成に向け、実践する。

## I 幼稚園の教育目標

人間尊重の精神に基づき、集団生活を通して健やかな体と豊かな心を育てるために次の目標を設定して達成を図る。(◎は今年度の重点目標)

○元気な子ども                      ◎仲良く遊ぶ子ども                      ○すすんで行動する子ども

## II 目指す幼稚園像

### 1 幼児一人一人の発達や特性が活かされる幼稚園

- (1) 基本的な生活習慣・態度の育成を通し、生きる力の基礎を培う。
- (2) 園児が「かかわる楽しさ」を感じることができるよう、人とのかかわりや遊びを通して、思いやる気持ち、社会性の基礎や豊かな感性を培う。
- (3) 生命の尊さ、健康づくりと安全な生活への主体的な態度を育てる。

### 2 教職員一人一人の力が発揮される幼稚園

- (1) 個々の教師が課題をもって研究・研修に励み、互いのよさを認め合う。
- (2) 日々の活動が、学校教育にどのようなつながるかを意識して計画的に指導する。
- (3) 施設・設備の安全性を確保し、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、幼児にやさしく美しく機能的な環境づくり、感染症に対応した環境づくりを行う。

### 3 地域の伝統と新しい教育が融合する幼稚園

- (1) 地域を愛し、地域で遊ぶ、たくましい幼児を育てる。
- (2) 開園63周年を迎え、地域の伝統と多様な教育力をさらに活用する。
- (3) 親子の心の交流を大切にする。

## III 指導の重点

### 1 基本的な生活習慣の確立

- (1) 教師との信頼関係を基に、幼児の遊びや生活を通して、基本的な生活習慣の確立を促す。
- (2) 友達と遊びの楽しさを共有したり、協同的な活動を通して互いに考えや力を出し合ったりしながら、充実感や達成感を十分に味わえるようにする。
- (3) 幼稚園教育要領における「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を指導の際に柱とする。

### 2 環境の構成

- (1) 四季の変化を感じ取れる環境の工夫を進める。(栽培活動・飼育活動)
- (2) 保育室、遊戯室、園庭、ジャンボ滑り台に加え、小学校の校庭や体育館を効果的に活用する。
- (3) おとめ山公園、薬王院、野鳥の森公園等、地域の自然環境の効果的な活用を図る。
- (4) 園医及び学校薬剤師等と連携した保健管理体制を整え、感染症に対応した環境衛生を保つ。

### 3 その他

- (1) 園内外の安全点検の日常化を図り、教職員の危機管理意識を向上させる。
- (2) 学びの連続性を踏まえた教育の充実を目指し、落合第四小学校との連携を工夫する。
- (3) 開かれた幼稚園を目指し、落合中学校、新宿せいが子ども園、中落合第二保育園、落合第四小学校との連携を進める。
- (4) 子育てを支える「幼児教育センター的機能」を果たすための取組を進める。(ふれあい広場、プレイデー、栽培活動、絵本の読み聞かせ、保育参観、iPadの活用等)